

こんにちは No.46 魚沼市議会 です



さい かみ
賽の神

(守門 大倉沢地区)



SU祭 (須原スキー場)

定例会・市長行政報告 2ページ
補正予算・議案賛否の状況 3ページ
一般質問 4～11ページ
常任委員会行政視察報告 11ページ
常任・特別委員会報告 12～15ページ
議会報告会 16～17ページ
市民の声・あとかぎ 18ページ

〈発行責任者 議長 浅井 守 雄〉

広報編集特別委員長 高野 甲子雄

副委員長 佐藤 敏 雄

委員 大平 恭 児

富永 三千敏

岩井 富士夫

志田 貢



新年あいさつ 議長 浅井守雄

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様が、元気で希望に満ちた輝かしい平成27年の新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

さて、去年は魚沼市が誕生して10年を迎えた記念すべき年でありました。記念式典では世界で活躍している渡辺謙さんが名誉市民となるうれしいニュースがありました。そして石川雲蝶生誕200周年など魚沼の魅力をも十分にアピールできた年ではなかったでしょうか。

平成27年は、新小出病院開院、市役所新庁舎などこれからの魚沼市を市民の皆様と一緒に考え、元気で活力ある地域をつくり上げる大事な年と考えています。勤勉で粘り強い魚沼市民の皆さんとともに市議会も、魚沼市の将来のため、市民の福祉向上のため、活発な議論を重ね、邁進してまいります。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

新庁舎建設について本格的な議論始まる

第4回定例会報告

平成26年第4回定例会は12月8日から12月22日までの15日間の会期で開かれました。

議案では、米価下落の影響を大きく受けている一定規模以上で有償借地のある農業者に対する補助金を含めた一般会計補正予算をはじめ、7件の条例改正案、すもんども園建築工事請負契約、指定管理者の指定など、計19件すべて可決しました。

12月10日、11日の一般質問では15人の議員が登壇しました。

また、市長から新庁舎建設の方針が示されたことに伴い、これまで7人としていた庁舎再編整備特別委員会の委員定数を議長を除く全議員19人に変更し、検討していくこととしました。

※議案賛否の結果は3ページをご参照ください。

主な市長行政報告

12月8日報告分

●福島県只見町との「災害時における相互応援に関する協定」について

11月10日に調印締結式を行った。災害時の相互応援のほか、国道252号線や只見線再開通などの課題に対する協力も進めていく。

●政策参与の登用について

平成27年1月1日から2年間、新潟県建築士会常務理事でまちづくりアドバイザーとして活躍している渡辺氏を政策参与として委嘱し、都市計画や地域づくりなどの助言・提言をいただく。

●JR只見線の復旧要望について

11月28日に東日本旅客鉄道株式会社本社に対し、魚沼市、議会、観光協会、入広瀬地域連合自治会、だんだんどうも只見線沿線元気会議の連名で、只見線の早期全線復旧、柿ノ木駅の存続、運行本数の拡充の3点にわたり要望活動を行った。しかし、回答はすべて難しいという内容であった。

●足立区との環境分野における連携事業について

バイオマスや小水力など再生可能エネルギーの活用、エコツアーや環境学習を主とした自然体験など、新しい事業の取り組みを進めていきたい。

●担い手農業経営維持緊急支援事業の実施について

米の直接支払交付金の半減など一連の農政改革と近年にない米価下落により、大規模農家ほど影響が大きく、今後の農業経営の維持に懸念を抱く状況となっている。このため、一定規模以上の担い手農家で有償の借地集積を行っている者に対して、その借地料の一部を緊急的に助成・支援する。

●国道17号浦佐バイパスの延伸開通について

11月30日に約1.8km延伸開通した。開通区間は水の郷工業団地前の県道浦佐線から市道宮田5号線間の十日町地区となり、あわせて市道宮田3号線も同時に開通した。

12月22日報告分

●大雪災害対策について

12月13日、15日と相次いで3件の屋根雪除雪中の転落死亡事故等が発生している。また、道路への雪崩も数箇所発生している。引き続き警戒していく。

●定住自立圏構想について

人口減少、少子高齢化の進行や行政改革の観点において、単独の自治体でフルセットの行政サービス提供は困難になることが懸念されるため、南魚沼市が中心市となり、湯沢町、魚沼市を圏域として役割分担、連携・協力し、人口定住等に必要生活機能を確保する「定住自立圏構想」への取り組みに着手する。

●JR只見線の柿ノ木駅について

12月16日の入広瀬地域意見交換会で、JRから廃止の方針について説明があった。1月15日には、観光関係団体への説明も予定されている。

●大白川・西名地区の地すべり災害の復旧状況について

大白川地内大原スキー場の地すべり災害については、今シーズンのスキー場営業には支障のない状況となった。来年度も引き続き工事を進める予定となっている。

西名地内の地すべり災害については、地すべり抑止工事や護岸工事が12月初旬に全て完了した。

新庁舎建設の民意を問う考えはないか



関矢 孝夫 議員

答 丁寧な説明をして理解を得ていきたい

問 平成20年11月の市長選で新庁舎建設反対を訴え当選し、就任最初の所信表明で「新庁舎はつ

くらないことを改めて申し上げます。私は選挙公約にこのことを全面的に掲げてまいりました。魚沼市の厳しい財政状況を考

えたとき、いくら積み立てがある、有利な起債があるといっても、庁舎を新築できる状況にないと確信しております」と述べた。2期目の市長選では庁舎再編計画には触れていない中、9月11日に市長が「新生魚沼市にふさわしい新たな庁舎建設は不可欠」と明言した。新庁舎建設に大きく方針

転換した市長に、次の3点を問う。

- 1 方針転換した時期は。
- 2 方針転換した最大の理由は。
- 3 市民の反応や声をどう受け止めるか。

の建設は不可欠と考え、9月定例会で表明した。

2 住民の利用に最も便利であることが最大の理由だが、市民の安全安心を守る防災拠点機能や効率的な行政運営の必要性もある。

答 1 平成26年第1

回定例会において、今年度中に何らかの方針を出したいと表明した。新病院建設や消防本部庁舎の完成、さらに東日本大震災以降、市役所庁舎の防災機能の強化が重視されているにもかかわらず現在には分散していることに危機感を持った。庁内プロジェクトチームの検討結果を受け、新たな庁舎

3 報道等を通じて一部支持者からは厳しい指摘もあった。しかし、「この機を失すると後年度の負担が大きいに市民に丁寧な説明をする必要がある」との助言を多くいただいている。今後丁寧な説明をして理解を得ていきたい。

大学生等による交流人口増加対策を



遠藤 徳一 議員

答 何を求めるかビジョンを整理する必要がある

問 1 雇用対策として、大学生など外部の目により新たな気づきを促し、地域資源を生かした産業を模索してはどうか。

2 まちづくりとして、当市の広大な自然や市街地を建築や造形を目指す学生等に提供し、デザインしてもらってはどうか。

新庁舎建設も予定している。庁舎を核とした都市デザインを募ってはどうか。
3 空き家、空き施設対策として、学生向けシェアハウスや大学の研究室、サークル活動の拠点として提供してはどうか。
4 婚活、人口減少対策として、人が集まり共同生活や作業をすることで

地元若者との交流が深まり定住につながる可能性もある。急務な対策と考えるがどうか。

5 文京区には多くの大学があり、文京区長は学長会議に出席する機会もある。首長間で協議してはどうか。

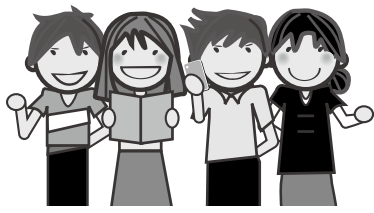
答 1 当たり前過ぎ

て気づかない地域の魅力を、地域外の人や若者の視点により新たな地域資源の再発見につながり有源の再発見につながり有源の再発見につなりたい。今後検討したい。
2 市民からアイデアをいただきながら、市独自の取り組みを検討したい。
3 空き家の実態調査の

結果をもとに空き家の台帳化を進め、さまざまな活用につけていきたい。空き施設についても有効活用を検討していく。

4 共同生活や共同作業は、仲間づくりや出会いの場づくりに非常に重要と考える。参考にしたい。

5 まずは相手に対して何を求めるか、こちらのビジョンを十分整理する必要がある。



庁舎建設を市民に説明すべき



本田 篤 議員

答 市民の理解を得るために説明会を開催する

問 1 庁舎問題は未来への影響が大きいと感じている。将来に先送りできるのか。

した。したがって財政的な見地からもこの期間内に実施することが必要である。

し、これから5年間は約30億円もの交付税等が削られる通減期間となる。厳しい予算編成を強いられると感じている。基本方針はどのようなものか。

2 近年の庁舎ニーズは、まちづくりの拠点に加え、防災庁舎・バイオマス利活用としての機能などもあるがどうか。

2 防災機能を備えた庁舎とし、市の木材利用の基本方針などに沿って進める。

答 交付税の通減が始まる1年目となり厳しい財政状況である。歳出の一般財源上限額を設定し、その範囲内に調整することを基本とし、限られた財源を重点施策に集中的に投入する予算を目指した編成方針としている。

答 1 新市建設計画が5年延長され、これにあわせて新市建設のための主要な事業に充てられる優良債である合併特別債の発行期間も5年延長

問 平成27年度からの交付税算定は優遇されていた合併特別期間が終了

平成27年度予算基本方針について

公共空間のバリアフリーと安全対策は



佐藤 肇 議員

答 法律にのっとり利便性や安全性に配慮し整備している

問 1 他市では市道上で起きた人身事故損害賠償請求訴訟に対し、道路管理者の瑕疵を認める判決が下されている。道路や公園などの公共空間での安全対策は利用者の

園などの施設整備を進めている。バリアフリー化だけでなく、フールプルーフ（利用者が誤った操作をしても危険な状況を作らないようにする設計）の考え方も取り入れ、健康者の常識ではなく視

がらどう整備していくか、ルールも含めて検討しなければならぬ。

現状だ。市民に周知し協力を求めるとともに安全対策を着実に進める以外方法は無いと考えるがどうか。

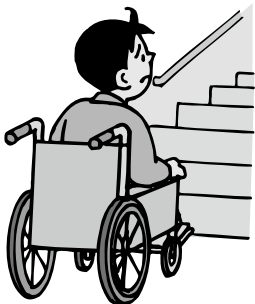
健康者の常識ではなく視点を変えた安全対策に取り組みべきと考えるがどうか。

3 法律にのっとり施設利用上の利便性や安全性の向上を目指し整備を進めている。提案のフールプルーフの考え方も念頭に置きながら安全対策に努めていきたい。

2 民有地を公共道路に提供している所として雁木があるが、官民共同で一定の基準を設け、安全対策や整備に対し市で助成してはどうか。

答 1 職員だけで対応するのは限界もある。市民からの情報提供や通報体制を構築し、さらなる安全対策に努めたい。

2 どこが管理するかによっても違ってくる。雁木が老朽化している所もあるが、背景を調査しな



一般質問 (通告順)

地方創生への取り組みを問う



佐藤 敏雄 議員

答 当面は現役世代や子どもたちを焦点とした予算を組む

問 1 人口問題対策としての当面の重点対策は何か。平成27年度予算に施策を盛り込むのか。

2 国では来年度から人口5万人程度の自治体を対象に、地方創生の政策立案を支援するため自治体の要望に応じ国の職員を派遣する方針と聞く。外から見た魚沼市の魅力を引き出せるチャンスである。外部の人的確保を積極的にすべきと思うかどうか。

3 先般、地域おこし協力隊の活動報告を聞いたが、地元については気づかない魚沼の魅力をいろんな角度でアピールしてくれている。中山間地だけでなく市内全体を見た情報発信などの人材の確保が必要と思うがどうか。

4 内閣府の調査で、都市住民の農山漁村地域への定住希望者が31・6%、2004万人いるとの発表があった。当市には多くの空き家や優良農地、雪森林、雄大な自然など若者が求めているものが多くある。空き家バンク、農業の若手就労、里山再生事業など、地方でこそできる生活圏の創設に取り組んではどうか。

5 2年間の人件費を負担する。管理経費の抑制も必要であり、今は考えていない。

6 地域おこし協力隊は地域の魅力を発掘し、ブログなどで市内外に発信してくれている。来年度は3名増員する。中山間地だけでなく商店街等でも受け入れは可能だが、人材と地域のマッチングが重要と考える。

7 定住には、まずは本市の特徴を生かした働く場の創出や所得水準の向上が図られるよう努める必要がある、これによって住んでみたいまちにながると考えている。

8 当面、現役世代や子どもたちに焦点を当てた予算編成を進める。一般的に国家公務員を受け入れる場合の待遇は、副市長または課長級

新庁舎建設を問う



岩井富士夫 議員

答 市民の利便性を第一に考えた結論である

問 1 日本創生会議の消滅市町村をひとつの考え方としたとき、建設に至った経過を踏まえ、市長の見解を問う。

2 平成25年7月に実施したアンケート調査を重視すべきと考えるがどうか。

3 平成24年11月に行った建設予定地の地質調査後、杭打ち工事にかかった費用総額と、今後支出予定の内訳と金額はいくらか。

4 平成26年度末までで約6億100万円、平成27年度には工事の継続費と備品購入、給水・ガス引込負担金等で約8億400万円、平成28年度に

見が現れたと受け止めている。

5 齋場建設について

6 平成24年11月に行った建設予定地の地質調査後、杭打ち工事にかかった費用総額と、今後支出予定の内訳と金額はいくらか。

7 市民の貴重な税金が有効に使われているか。

問 1 市民の貴重な税金が有効に使われているか。

2 市の事業は最少の経費で最大の効果をあげているか。

3 組織及び運営は合理化されているか。

4 有効に使われていると考えている。

答 1 有効に使われていると考えている。

2 最少の経費で最大の効果をあげるべく職員は努力している。

3 効率的な財政運営の面から庁舎の一本化に向けて努力していると考えており、期待している。

4 市民の貴重な税金が有効に使われているか。

新斎場建設事業費大幅増額の責任を問う



大平 栄治 議員

答 裁判の中で判断されるものと認識している

問 1 市長は、新斎場建設を強引に進めたことで、当初計画になかった大幅な予算増を招いた。事前の地質調査は平成24年度事業で410万円を

かけ実施され、その結果は平成25年3月25日に出ている。本設計が出る前に、地盤が粘土質の軟弱地盤で、杭打ち工事など地盤対策をしなければならぬことがわかったはずだ。議会で用地取得の議決を受けた平成25年10月4日までの間に説明する機会は十分あったが、議会にも全く説明していない。残骸の除去に3,698万円、土地の購入に7,100万円、杭打

ち工事に6,400万円、ごみの処分に3,000万から3,500万円かかる。市長は斎場用地にいくらか税金を投入しようとしているのか。

え、現在係争中の案件にかかわることである。司法に委ねられていることであるため、その審理は法廷で行われるべきであり、この場で答弁することとは適当でないと考え、答弁は差し控える。市長の責任も裁判の中で判断されると認識している。

2 公共用地の取得に伴う損失補償基準は法律で示されている。なぜ斎場用地取得を法令どおり執行しなかったのか。

え、現在係争中の案件にかかわることである。司法に委ねられていることであるため、その審理は法廷で行われるべきであり、この場で答弁することとは適当でないと考え、答弁は差し控える。市長の責任も裁判の中で判断されると認識している。

答 1 議会への報告は、機会あるごとに行っている。事業費の増額については、必要な範囲での増額と考えている。

え、現在係争中の案件にかかわることである。司法に委ねられていることであるため、その審理は法廷で行われるべきであり、この場で答弁することとは適当でないと考え、答弁は差し控える。市長の責任も裁判の中で判断されると認識している。

2 平成26年1月9日付で原告の大平栄治氏ほか5名が魚沼市の代表者である市長を被告として訴

え、現在係争中の案件にかかわることである。司法に委ねられていることであるため、その審理は法廷で行われるべきであり、この場で答弁することとは適当でないと考え、答弁は差し控える。市長の責任も裁判の中で判断されると認識している。



市民参画による、ふるさと納税の活用を



志田 貢 議員

答 大変興味深く、今後の課題としたい

問 寄附金の活用には5つのメニューがあるが、その中の「かがやく魚沼応援隊」は市長が魚沼市の未来発展に寄与すると認める事業に活用するとある。その活用方法として、地域活性化・まちづくりなどをテーマに、市民（団体も含む）自ら企画・提案・実施の一連ができるように公開型プレゼンテーションの場を設け、審議会等でプレゼンを受け判定し、補助金等を決定する制度を構築してみてもどうか。

の予算編成時に充当事業を決めている。今後より明確に用途がわかる手法を考えていかなければならない。また、市民等が企画から実施まで計画した事業に寄附金を充当することは、大変興味深い。これは、大変興味深い。これは、大変興味深い。これは、大変興味深い。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

の予算編成時に充当事業を決めている。今後より明確に用途がわかる手法を考えていかなければならない。また、市民等が企画から実施まで計画した事業に寄附金を充当することは、大変興味深い。これは、大変興味深い。これは、大変興味深い。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。

意識を盛り上げ、また、尾瀬のPRにもつながるなど副次的な面も期待できる。改めて尾瀬を世界遺産にと声をあげてみてはどうか。



一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

TPP参加反対表明を



大屋 角政 議員

これまで同様、反対の立場に変わらない

農業・農協改革について

条例化を進めているよう

問 TPPは「関税の撤廃」「非関税障壁の撤廃」など、今まで以上の高い自由度を求めている。

問 政府の「規制改革会議」で農業・農協改革が議論されている。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」「地盤沈下の影響もなく規制の理由が明らかでない」などの意見をいただいた。

以前にも指摘したが、農業だけでなく、医療、保険、建設、金融などあらゆる分野を新自由主義に基づき規制を撤廃するものだ。

答 農協は農村地域で生活するうえで一番身近な組織である。

答 主に「食まち・うおぬま」というキャッチコピーでPRしてきた。今後、経済効果が現れると考える。

アメリカと日本の貿易が90%を占めることから日米FTAともいわれている。

答 地下水の調査を数年実施し、それに基づき

答 地下水の調査を数年実施し、それに基づき

日本は農業をはじめ地域経済は破滅の道に突き進むともいわれている。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

改めて市長にTPP参加反対を表明していただきたいがどうか。

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

答 主には「建坪を基準とした画一的な計算では駐車場等の敷地面積が考慮されない」

所信表明の重点施策の実現性は



富永三千敏 議員

「食まち・うおぬま」などで経済効果が現れると考える

合併特例債の発行期間の5年延長に合わせ、新市建設計画を変更して市政を進めるとしている。

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

重点施策「成長戦略の推進」について問う。

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

1 「成長戦略の推進」のひとつめの取り組み

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

「食でつながる元気なまちづくり」の成果と来年度の展望はどうか。

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

2 二つめの取り組み「自然を活用した産業の活性化とエネルギー利用」の見通しはどうか。

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

3 今年度の観光施策をどのように評価し、次年度につなげ発展させるか、次年度の観光施策の方向性はどうか。

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

4 全産業を観光と捉え観光交流人口の拡大による外貨獲得を図るべきで

答 「食まち・うおぬま」など

答 「食まち・うおぬま」など

ペアレント・トレーニングの導入を



渡辺 一美 議員

答 重要と考え、今年度講演会を開催する

問 1 発達障害支援について当市はどう取り組んでいるか。

2 出産時に全ての子どもに子育てサポートファイルの配布をしようか。

3 子育てに悩みを持つ保護者同士の交流や不安、孤立感への軽減につながるペアレント・トレーニングを導入してはどうか。

必要な子どもたちに限り配布している。全ての子どもに配布する予定はないが今後研究する。

3 重要性は認識しており、今年度中に保護者等を対象に講演会を開催する。

女性の活躍推進について

問 1 「2030目標」(2020年に指導

に女性のメンバーを増やす必要があると考えるが、市長の見解はどうか。

3 各種審議委員会のメンバーにクォータ制を導入する必要があると思うがどうか。

答 1 女性幹部の登用計画はないが、次期の男女共同参画推進計画策

定時に検討したい。

2 会議の構成は、公共的団体や自主防災組織の代表者の充て職であることから男性が多い。この会議に限らず意欲ある女性が活躍できるように支援に努めたい。

3 構成員が団体の代表者などの充て職となる場合が多く、女性の登用は検討課題である。

答 1 乳幼児の健診時に小児科医、保健師のほか言語聴覚士も加わり、多角的に成長発達を見極めるよう努めている。また、療育教室への参加や受診を勧めるなど、早期に児童の特性に合わせた支援につなげている。

2 魚沼市版相談支援ファイルを作成し、支援が

3 構成員が団体の代表者などの充て職となる場合が多く、女性の登用は検討課題である。

地域包括ケアシステムの構築を問う



高野甲子雄 議員

答 市主体で関係者と協力し構築する

問 新しい小出病院を中心に医療連携を行っていくことで地域の包括ケアを構築していくとして、次の点を問う。

1 計画を進める主体はどこか。

2 計画の進み具合はどうか。

3 地域包括ケアシステム構築にあたって最も重要な課題は何か。

社会資源を有効に活用する体制づくりが最も重要であり、当面は在宅介護の支援ネットワーク構築が課題である。

定住促進、人口減少対策について

問 定住促進、人口減少対策は「住宅施策」「産業振興」「子育て支援」

の3点セットが有効と言われている。市の南部地区には小学校があり、南部工業団地、水の郷工業団地がある。国道17号バイパスの開通により基幹病院への通勤が容易になった。そこで次の点を問う。

1 市南部地区は民間アパートがない。市営住宅の建設でU、Iターン者の受け入れを図ってはどうか。

2 地域おこし協力隊員の受け入れの可否は魚沼市にとって重要課題である。協力隊員の定住に向けた支援策は考えられているか。

答 1 公営住宅は入居条件があり、最近空室も増えているため、全体の需給バランスや民間の開発動向を見ながら検討したい。

2 隊員が活動しやすい環境づくりを心がけたい。

3 地域の特性や地域の

3 地域の特性や地域の

2 隊員が活動しやすい環境づくりを心がけたい。

一般質問 (通告順)

地域資源の利活用の推進を



星 吉寛 議員

【答】 地域資源に光を当て持続可能な地域づくりに取り組む

【問】 米や山菜などの6次産業化、観光、再生エネルギーなど、地域資源を有効に活用し、持続可能な地域づくりへ向け、攻めの行政を行っていくべきではないか。

【問】 神湯温泉倶楽部、浅草山荘などの公営温泉施設等の指定管理事業の現状について、どのように認識し、今後どのように対応を考えているのか。

【問】 水の出しの悪い消雪パイプ用井戸を水中テレビカメラで内部の状況を把握し、最新工法で洗浄等を行い消雪パイプの機能回復を図るべきではないか。

【問】 消雪パイプ(消雪井戸)の有効活用について

【問】 揚水量を復元させるため井戸洗浄を行って、きたが、十分な効果が確認された。最新工法は実績も少なく割高であり、当面はデータを収集することになる。

【答】 成長戦略として食によるまちづくり、森林林業の再生、木質バイオマス発電事業の検討を進めており、まさに6次産業化への挑戦である。地域にある豊富な資源に光を当て、持続可能な地域づくりに取り組む。

【答】 人口減少、高齢化、観光動態の変化により、全体的に厳しい経営環境にあると認識している。今後は新たな視点で経営改革ができるかどうか、

【答】 揚水量を復元させるため井戸洗浄を行って、きたが、十分な効果が確認された。最新工法は実績も少なく割高であり、当面はデータを収集することになる。

人口減少社会における地域活性化策は



岡部 計夫 議員

【答】 地域おこし協力隊の増員など、さらに進めていく

【問】 1 地域おこし協力隊の活動状況をどう評価しているか。

【問】 2 地域おこし協力隊の導入は初めてでもあり、周知は少し不十分であったとの指摘もある。しかし、受け入れて初めて気づく場面もあり、今後の取り組みに生かしていく。

【問】 3 3名増員したい。受け入れ希望地域を対象とした研修を実施したところである。

【問】 4 農林業者の所得向上や、集落の維持・再生、観光と連携した都市農村交流推進や6次産業化の推進による農山村の活性化を図る「都市農村共生・対流総合対策交付金」を活用する考えはないか。

【問】 1 初年度でもあり、いい意味で地域に刺激を与えていると思つて

【問】 1 ドラッグ吸引

【問】 2 新潟県では12月県議会条例案を提案する予定になっている。他市町村でもすでに条例化しているところもあるが、魚沼市の考え方と今後の取り組みを問う。

【問】 2 市独自の条例化は考えていない。県や関係機関と啓発活動に取り組んでいく。

【問】 1 市内での事例はない。

人口問題対策本部の戦略はあるか



大平 恭児 議員

答 現在検討している

問 1 人口減少の原因をどう捉えているか。

2 人口問題対策本部が本気で人口問題を抑え人口を増やすと考えるなら、まず何をやるのか戦略はあるか。

自治体の内発的發展について 原発への対応について

問 1 将来世代の小中高生を中心とした「人材育成のためのプロジェクト」を立ち上げるべきではないか。

2 人口減少にも一定の成果が出ている小規模自治体の取り組みを大いに学ぶべきではないか。

答 1 民間企業や団体などが自発的な学習を通して技術開発や地域資源を合理的に活用し、地域経済の発展や住民福祉の向上を図ることも考えられることから今後の課題とする。

2 学ぶべき点はあるが、単に成功事例を追うのではなく、地元の資源や地域に根差した多様な取り組みを市民と共に実践する中から、結果と評価がついてくるものと考えている。

問 1 市職員を派遣し、原子力災害対策計画に反映させるべきではないか。また、実効性のある対策をした後の対応を見据え独自に取り組むべきではないか。

2 もろい地層の上に立つ柏崎刈羽原発は廃炉にすることが最も安全で現実的な対応だと考えるが見解を問う。

答 1 実効性のある対策を打つために、県や近隣自治体との広域連携協力体制が不可欠であり、各方面から研究を深めていく。

2 安全性は技術者の調査や原子力規制委員会の最終報告を待って議論をスタートさせるべきと考える。

2 戦略は現在検討している。いかに地域経済を發展させるかであり、基本的には若い世代が安心して暮らせる社会を目指すことにある。

一般質問 (通告順)

常任委員会行政視察報告

総務委員会 (10月8日～10日)

場所	視察内容
長野県東御市	コミュニティFM局
長野県川上村	村づくり
長野県飯田市	太陽光発電、おひさまゼロ円システム
岐阜県中津川市	定住促進対策、若者Uターン者用住宅整備事業
長野県JAあづみ	くらしの助け合いネットワークあんしん、御用聞き車あんしん号



福祉文教委員会 (10月15日～17日)

場所	視察内容
長野県阿智村	中学校の統合
岐阜県大垣市	子育て日本一のまちを目指す支援策
岐阜県高山市	冬季高齢者ファミリーホームの運営
富山県高岡市	地域包括ケアにおける高齢者の住まい施策
富山県黒部市	保育所の民営化



産業建設委員会 (11月10日～11日)

場所	視察内容
山形県鶴岡市	加茂水族館クラゲドリーム債
山形県村山市	やまがたグリーンパワー株式会社 山形バイオマス発電事業プロジェクト
山形県最上町	バイオマスエネルギー地域システム



総務委員会報告

11月13日

1 北部振興事務所管内の課題について

問 魚沼市高齢化対策共同事業「買い物代行事業」の認知度が低いのは周知が徹底していなかったということか。

答 このアンケートを取った段階では認知されていないと考えられる。

問 今は周知の徹底をされているか。

答 集落支援員が高齢者世帯を訪問し話をしているが申し込みがない状況だ。近隣の方に買い物をお願いしているという実態もある。

問 アンケート対象者数と回答者数は。

答 上条地区で1, 114人に配布し回答が868人、回答率が78%だった。

た。入広瀬地区で1, 283人に配布し回答が790人、回答率が62%だった。

問 アンケートを見てどう感じたか。

答 一番の目的は高齢者に対する行政側としての手の差し伸べ方を現状把握することだ。その中で、通院や買い物などについて今後の方向性を導き出したいと取り組んだ。その成果は出ていっているのだから後に生かしていきたい。

問 乗合タクシーをできるだけ皆さんに利用してもらおう方向性を検討してもらいたいがどうか。

答 乗合タクシーは乗る時間をタクシー会社に連絡するのが非常に億劫という意見がある。その点と効率のバランスを考え

検討していきたい。

2 コミュニティFMの開局支援について

問 集落支援員の人数は。

答 9人で、北部振興事務所に4人、まちづくり室に5人配置している。

問 魚沼市人権教育・啓発推進計画の進捗状況について

問 いつ策定するのか。

答 12月の庁議で「案」とする。その後パブリックコメントにかけ、市民の意見を受け3月までに計画決定、公表する予定。

答 12月の庁議で「案」とする。その後パブリックコメントにかけ、市民の意見を受け3月までに計画決定、公表する予定。

1 議案第94号

魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

「この地域では景気回復の感じは受けていないため議会議員の期末手当引き上げについて反対する」との反対討論があった。

問 佐渡市では希望を取った結果7割くらいということだが、1億8千万円のうちラジオに係る経費はどれくらいか。

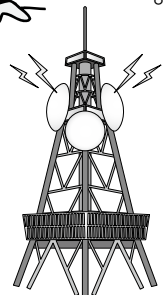
答 1億7千万円程度がラジオで、その他が局設備、配布資料等である。

問 ラジオは何台か。

答 全戸分で1万3, 500台。

問 行政視察先では、全戸配布が難しいといわれたが、当市では全戸配布できる対策を取ってほしい。

答 検討している。



福祉文教委員会報告

10月28日

10月15・16・17日に実施した行政視察の総括を行い、この視察を踏まえ学区再編、子育て支援策、高齢者住宅施策などについて勉強会を設け、引き続き調査を行っていくこととした。

問 自治会長と囑託員に説明したが住民に対しての説明は。

答 全地区を対象とした説明会はせず、囑託員や連合会長を通じて地区の皆様にお知らせしていた。

11月21日

1 堀之内子育て支援センターについて

2 新斎場建設事業について

問 工事中にごみが埋設

されていたことがわかって（魚沼市守門高齢者セ
たと聞いたが、今後の対
応は。

答 掘削作業中に、木質、
沼須原スキー場の会社と

プラスチックなどのごみ
が出てきた。木質のごみ
は朽ちた状態で分別が難
しい状況だが、来春には
処理したい。

問 土地の前の所有者は
このことを知っていたのか。
答 事実確認はこれから
だが、調査した後に対処
していきたくと考えている。

問 1 議案第101号
すもんこども園建築工事
請負契約の締結について
問 工期と開園はいつか。
答 工期は平成28年6月
30日、開園は平成28年
の夏頃を予定している。

※ 原案可決すべきものと
決定。

2 議案第102号
指定管理者の指定につい

※ 原案可決すべきものと
決定。

問 指定管理者候補の魚
沼須原スキー場の会社と
いて

答 スキー場では冬に限
らず夏も1名の職員を採
用しており、指定管理を
受けることで高齢者セン
ターに2名の職員を配置
し、そのうちの1名はス
キー場と兼任できるため、
夏の人件費削減が見込ま
れると考える。

問 3 ごみの野外焼却につ
いて

答 スキー場では冬に限
らず夏も1名の職員を採
用しており、指定管理を
受けることで高齢者セン
ターに2名の職員を配置
し、そのうちの1名はス
キー場と兼任できるため、
夏の人件費削減が見込ま
れると考える。

問 3 地下水の保全について

答 改正条例案は、現在
の条例に比べ深度規制の
撤廃など緩やかになって
いると認識している。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 費用の一部助成を検
討するということだが、
条例に規定するのか。
答 条例とは別に要綱等
で定める予定である。

産業建設委員会報告

12月12日

1 議案第101号
すもんこども園建築工事
請負契約の締結について

問 工期と開園はいつか。
答 工期は平成28年6月
30日、開園は平成28年
の夏頃を予定している。

※ 原案可決すべきものと
決定。

2 議案報告会における
意見要望等について

1 議案審査について
※ いずれも原案可決すべ
きものと決定。
2 議会報告会における
意見要望等について
糲殻を焼却していいか
という質問に対して執行
部に確認した結果、野焼
した。

執行部より、10月15日
から23日に6会場で市民
向けに、11月12日に関係
業者の説明会を行った結
果について説明を受けた。
と該当しなくなる。今後
の考え方として、3カ年
の平均の何パーセント価
格が下がったかどうかで
継続する考えはあるか。

問 過去3カ年の平均よ
りも2,500円以上下
落した場合ということだ
が、より低い価格が続く
と該当しなくなる。今後
の考え方として、3カ年
の平均の何パーセント価
格が下がったかどうかで
継続する考えはあるか。

問 降雪検知器が設置さ
れていない施設が多数
あつて、設置を義務付け
た場合に補助するよう検
討するということだが、
いきなり義務付けるのは
厳しいと思う。余裕を
持った期間を考えているか。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

問 地下水が不足する事
態になる前に、貴重な水
資源を確保して平等に利
用することが大切だ。

答 今すぐ付けなければ
ならないということでは
ならないと思う。ただし、
さらに翌年度同価格と
なると思う。

地域医療対策 特別委員会報告

11月19日

建設中の魚沼基幹病院を視察し、内山院長から説明を受けながら魚沼基幹病院と市立小出病院の連携について懇談を行った。

また、医師、医療スタッフの確保状況について調査を行った。開院時にはほぼ確保できる見込みと報告を受けた。

建設中の魚沼基幹病院を視察し、内山院長から説明を受けながら魚沼基幹病院と市立小出病院の連携について懇談を行った。

また、医師、医療スタッフの確保状況について調査を行った。開院時にはほぼ確保できる見込みと報告を受けた。

建設中の魚沼基幹病院を視察し、内山院長から説明を受けながら魚沼基幹病院と市立小出病院の連携について懇談を行った。

また、医師、医療スタッフの確保状況について調査を行った。開院時にはほぼ確保できる見込みと報告を受けた。

建設中の魚沼基幹病院を視察し、内山院長から説明を受けながら魚沼基幹病院と市立小出病院の連携について懇談を行った。

また、医師、医療スタッフの確保状況について調査を行った。開院時にはほぼ確保できる見込みと報告を受けた。



12月15日

議案第99号

魚沼市診療所条例の一部

改正について

指定管理者となるようだが、どのような病院になるのか。

堀之内病院は外来診療と療養病床50床を残す。一般病床は新小出病院に吸収する。

堀之内病院の医師確保の状況はどうか。

来年度の1年間は常勤、非常勤合わせて3名体制を考えている。

指定管理が平成27年4月1日からだが、一般病床の入院患者はどうするののか。

3月時点でほぼゼロとし、残っている場合は小出病院に移送する。

将来、堀之内病院を老人保健施設に移行したいとする話があるがどうか。

来年1年間は変わらない。平成28年度以降の方針は協議中である。

療養病床と老人保健施設の違いは何か。

療養病床は医療機関であり医療処置が必要なのが対象。老人保健施設は介護保険が適用される施設であり、介護に重点が置かれる。

療養病床の入院患者はどうなるのか。

現在40人のうち、医療機関に移らなければならないのは3、4人程度と思われる。

※原案可決すべきものとして決定。

療養病床は医療機関であり医療処置が必要なのが対象。老人保健施設は介護保険が適用される施設であり、介護に重点が置かれる。

療養病床の入院患者はどうなるのか。

現在40人のうち、医療機関に移らなければならないのは3、4人程度と思われる。

※原案可決すべきものとして決定。

3 その他
市長から県の医療移行調整会議の報告及び基幹病院、南魚沼市民病院の体制について説明があり、質疑を行った。また、魚沼医師会との懇談で出された新小出病院の開院準備について質疑を行った。

来年1年間は変わらない。平成28年度以降の方針は協議中である。

療養病床と老人保健施設の違いは何か。

療養病床は医療機関であり医療処置が必要なのが対象。老人保健施設は介護保険が適用される施設であり、介護に重点が置かれる。

療養病床の入院患者はどうなるのか。

現在40人のうち、医療機関に移らなければならないのは3、4人程度と思われる。

※原案可決すべきものとして決定。

3 その他
市長から県の医療移行調整会議の報告及び基幹病院、南魚沼市民病院の体制について説明があり、質疑を行った。また、魚沼医師会との懇談で出された新小出病院の開院準備について質疑を行った。

来年1年間は変わらない。平成28年度以降の方針は協議中である。

療養病床と老人保健施設の違いは何か。

議会改革特別委員会

11月7日

1 政務活動費の支出内訳様式等について

政務活動費の支出内訳様式等について

政務活動費の透明性を確保するため、インターネット公開を目指し、支

政務活動費の透明性を確保するため、インターネット公開を目指し、支

出内訳様式及び支出項目等を検討して「魚沼市議会政務活動費の運用につ

出内訳様式及び支出項目等を検討して「魚沼市議会政務活動費の運用につ

いて(案)」として取りまとめ議長に報告した。

いて(案)」として取りまとめ議長に報告した。

2 公聴会及び参考人制度について

公聴会及び参考人制度について

魚沼市議会基本条例では「議会は、請願及び陳情の審議等においては、必要に応じて、当該請願者又は陳情者の意見を聴き調査することとした。

魚沼市議会基本条例では「議会は、請願及び陳情の審議等においては、必要に応じて、当該請願者又は陳情者の意見を聴き調査することとした。

3 議案の公開について

議案の公開について

魚沼市のホームページ

魚沼市のホームページ

市民参画の一環として、請願や陳情の審議等の際に、委員会において、必要に応じて提出者の意見を聴い

市民参画の一環として、請願や陳情の審議等の際に、委員会において、必要に応じて提出者の意見を聴い

必要に応じて提出者の意見を聴い

必要に応じて提出者の意見を聴い

必要に応じて提出者の意見を聴い

必要に応じて提出者の意見を聴い

庁舎再編整備 特別委員会報告

10月22日

魚沼市庁舎再編基本構

想(案)と再編スケジュ

ール(案)が示され、執
行部より説明を受け、質
疑を行った。

問 新庁舎建設へ方針転
換した理由は。

答 行政改革の進展、財
政健全化の成果、小出病
院の建設など市民の安全
安心などの大型建設事業
に一定のめどがついたこ
とから、庁舎の一本化に
よる行政の効率化と防災
拠点の整備が重要課題と
なった。

問 平成31年に工事完了
予定とあるが、性急では
ないか。

答 合併特例債を使うに
は5年間の事業完了が
必要だ。

問 ほかの起債では建設
できないのか。

答 事業費の95%が起債

の対象となり、そのうち
の70%が交付税で措置さ
れるので、合併特例債が
財政面から一番有利である。

12月8日

問 新庁舎建設の方針が出
されたことを受け、本会
議で議長を除く全議員に
よる委員会となったので、
19名による初の委員会を
開き今後の運営などを協
議した。

12月12日

問 庁舎再編整備構想(案)
について質疑を行った。

問 庁舎を作らない方針
を変えたことについて、
説明責任をどうするのか。

答 段階ごとに市民説明

会などを開催して理解を
求めたい。

問 現在の庁舎の活用は
どうするのか。

答 守門庁舎のように、
活用できる場所は残し
ていく。

問 新庁舎の位置につい
てはどう考えているか。

答 小出市街地周辺エリ

アで市民の利便性を第一
に、交通の事情やほかの
官庁との関係を考慮する。

12月15日

問 候補地のエリアの面
積は。

答 佐梨川、魚野川、羽
根川、高速道に囲まれた
約2・25km²のエリアで
ある。

問 市民の声を聞くため
の委員会を設置したらどうか。

答 まずは議会の中で合

意形成が図られるよう理
解を求めたい。

問 都市計画やハザード
マップ、市有地などの資

料をもとに検討すべきで
はないか。

答 次の委員会には資料
を提出したい。

11月26日

問 総合計画は、基本構
想、基本計画、実施計画
の3層構造になっている。

答 これまでの策定の経緯か
ら、農林業の振興がひと
つの分野になり、この次
に細かいものが出てきて
いる。各分野の具体的な
事業は、実施計画でやっ
ていくこととなる。

※

問 今の段階では、そう
いった個々の部分まで出
していない。次の計画に
盛り込まれていくのでは
ないかと考えている。

答 今の段階では、そう
いった個々の部分まで出
されていない。次の計画に
盛り込まれていくのでは
ないかと考えている。

問 商業、工業、観光が
ひとつくりになっている。
基本構想の段階で分ける
べきではないか。

答 まずは議会の中で合

料をもとに検討すべきで
はないか。

答 次の委員会には資料
を提出したい。

問 委員会独自でまちづ
くり未来会議のように提
言書をつくることも可能
な中では、当委員会はど
ういった方針で運営する
か。

答 総合計画は、基本構
想、基本計画、実施計画
の3層構造になっている。

委員 委員会を開く
中、皆さんで議論を深め
てコンセンサスを図って
いくという運営を考えて
いる。各委員の意見を取
り上げ、委員会の中で意
見の集約や意見交換をす
る。一連の作業で合意形
成を図ることができれば、
執行部に提案や提言をし
ていきたい。

委員 委員会を開く
中、皆さんで議論を深め
てコンセンサスを図って
いくという運営を考えて
いる。各委員の意見を取
り上げ、委員会の中で意
見の集約や意見交換をす
る。一連の作業で合意形
成を図ることができれば、
執行部に提案や提言をし
ていきたい。

委員 先般配付した基
本構想・基本計画の策定
体制のイメージにも、
我々市議会は市長に提言

委員 先般配付した基
本構想・基本計画の策定
体制のイメージにも、
我々市議会は市長に提言

委員 先般配付した基
本構想・基本計画の策定
体制のイメージにも、
我々市議会は市長に提言

委員 先般配付した基
本構想・基本計画の策定
体制のイメージにも、
我々市議会は市長に提言

総合計画特別委員会

※クオータ制…一定数を
女性に割り当てる制度。

平成26年第2回議会報告会を開催しました

魚沼市議会では、平成26年4月に制定された魚沼市議会基本条例の規定に基づき、11月4日～6日に6会場で議会報告会を開催し、延べ88人の皆様から参加いただきました。

市民の皆様からいただいた意見を真摯に受け止め、市政に反映していくよう取り組みたいと考えます。

市政に対する声を届けていただきました（主な意見等）

<総務委員会で調査していきます>

- 少子化対策など人口問題に取り組むため魚沼市人口問題対策本部を設置したと聞いたが内容はどうか。
- 名誉市民となった渡辺謙さんの記念館構想や、気仙沼市にある渡辺謙さんプロデュースの「カフェKーport」の姉妹店開店に向けた取り組みはないか。

<福祉文教委員会で調査していきます>

- 入広瀬幼稚園で0才児から2才児の幼児を受け入れられるように、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の中で考えられないか。
- 焼却処分に係る文書で、各家庭ではたき火はよいが野焼きはいけないとある。落ち葉や枯れ木ぐらいはよいのでないかと思うがどうか。

<産業建設委員会で調査していきます>

- 魚沼市では^{もみぐら くんたん} 籾殻の燻炭焼きを行っても大丈夫か。
- 小規模農家の有機センターへの籾殻出しの扱いはどのようになっているのか。
- 高齢化が進み、担い手不足の中で農地の管理のあり方についてどのように考えるか。

<地域医療対策特別委員会で調査していきます>

- 新小出病院の医師確保の状況や診療体制について懸念するが大丈夫か。

<庁舎再編整備特別委員会で調査していきます>

- 市長の考え方が新庁舎建設に変わったが、昨年の庁舎問題についてのアンケート結果なども踏まえ議会の中で慎重に議論してもらいたい。
- 新庁舎の建設ありきではなく、新庁舎が持つポテンシャルを考え、市街地商店街の活性化も含め検討し、新庁舎建設につなげるべきだ。

※調査の経過は、議会だよりの委員会報告等で随時報告をしていきます。



平成26年11月5日 湯之谷会場



平成26年11月5日 広神会場

議会報告会でいただいた意見について調査の経過をお知らせします

コミュニティFM事業について（総務委員会）

エフエム魚沼株式会社発起人会が募集した株主の一般公募については、予定された1,250株全ての申し込みが完了しました。予備免許の交付は平成27年3月の予定で、現在、開局に向けた準備を進めているところであり、引き続き調査をしていきます。

空き家対策について（総務委員会）

平成24年に制定された「魚沼市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」に基づく相談、助言、緊急安全措置として雪おろしなどが実施されています。また、空き家の台帳化や有効活用の取り組みを進めていることから、引き続き調査をしていきます。

中学校統合について（福祉文教委員会）

守門・入広瀬地域から要望があり、検討組織を設けて協議していくこととしていましたが、年度内に広神地域も含めた検討組織を設置する予定との報告を受けました。今後も調査していきます。

井口小学校建設事業について（福祉文教委員会）

教育委員会から、保護者等からの要望を受け、用地の面積は変わらないが配置変更により野球ができるスペースを確保し、学童保育についても学校内の体育館側に整備し現在の施設と2カ所で運営する方針が示されました。委員会では、特色ある学校づくりや避難所としての機能の充実を求めました。

もみがら 籾殻等の野外焼却について（福祉文教委員会、産業建設委員会）

田んぼのあぜ、芝生などを燃やすことは、やむを得ないと考えているが、山火事につながる危険性もあるので十分気をつけてほしいとのことでした。

また、籾殻くんだんの燻炭焼きは認められています。しかし煙やにおい、ぜんそくなどの影響があると通報を受けることもありますので、周辺に迷惑をかけない範囲で行ってほしいとのことでした。籾殻は有機センターでは原則耕作面積3ヘクタール未満の個人収集はしませんが、自己搬入であれば受け取っています。

企業誘致について（産業建設委員会）

魚沼の豊かな自然の恵みを一番のアピールポイントとして、食品をはじめとする製造業など、健康ビジネス関連企業を中心に行っています。また、雪冷熱エネルギーを使ったデータセンターの誘致について4候補地の中に残り、県と情報交換しながら、引き続き誘致活動が行われますので、今後も調査していきます。

バイオマス発電の仕組みと将来展望について（産業建設委員会）

11月に先進地である山形県村山市と最上町を視察しました（11ページ参照）。今後も調査・研究していきます。

医療スタッフの確保について（地域医療対策特別委員会）

現在、平成27年6月の魚沼市立小出病院開院に向け、一般財団法人魚沼市医療公社が医師・医療スタッフの確保に努めています。最終的には、市・県からの派遣を含め155名を採用する見込みとなっているところであり、引き続き調査をしていきます。

庁舎の一本化について（庁舎再編整備特別委員会）

市長の新庁舎建設表明を受け、委員会構成7名から議長を除く19名に変更し、今後しっかりと調査していきます。

市民の声

雪で折れた木の枝

親柄 井口万里子さん

一昨年の豪雪災害の年は、細い枝なら1m、太い枝は50cmだったと思うが、切って持ち込めば無料で引き取ってもらえた。

昨年は、豪雪に該当しないので一般のごみとして有料。それも持ち込みはすべて50cmに切らないと引き取ってもらえない。

今年の春も同じことにならぬだろうか。雪の多い少ないに関係なく、折れた枝は山のように出る。

燃やせたらどんなによいか。木の枝はプラスチック等と違って、燃やしても自然に帰るだけで、害にならないと思うのに…。

ところが、「バラの枝はトゲがあるから燃やしてもよい」と市役所に聞いて

たよ」という人もいる。

また、許可をもらって燃やせる人もいる。いったいぜんたい何が本当なのか…。あと3カ月ほどでまた雪消えた。

コミュニケーション不足の解消へ

古新田 森山右文さん

魚沼市は、第二次総合計画策定のために市民120名余を集め「まちづくり未来会議」を開催している。これは、市民の声を聴き市政に反映するためではあるが、本当に反映されるのか。急こしらえの会議で市民の声を聴いたといえるのか。

この問題点は何か。日頃から市民同士で話し合いをしていないことや諸課題に対する市民と市政

のコミュニケーション不足が原因ではないのか。このコミュニケーション不足を解消するために市施設や空き家を活用してコミュニケーションセンターを設置し、日常に話し合いの場・市民が声を出せる場にする。また、話し合いの内容を取りまとめ、市長・議員・行政がこの内容を参考に



り入れることができるのではないか。

本会議の映像配信を

映像配信をしています

本会議の映像をインターネットで配信しています。魚沼市議会ホームページにアクセスいただき、ぜひご覧ください。

また、会議録も議事事務局、図書館(室)、ホームページで閲覧できます。

議会を傍聴してみませんか



「市民の声」の原稿を募集します

- 字数350字程度
- タイトル
- 住所・氏名

(匿名での掲載はできません。)

● 顔写真を同封のうえ、お寄せください。(顔写真の掲載を希望されない場合は不要です。)

送先

魚沼市議会事務局
(魚沼市今泉 1488番地1)

市議会議場は広神庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。

定例会は年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。

このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。

日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

あ と が き

新年明けましておめでとうございます。

今年は、暖冬小雪の予報が一転して、10年ぶりの豪雪で悪戦苦闘。一方、除雪作業関係者、スキー場はほくほくで、地域が活性化しています。

地震や津波は、時によって全財産を持って行かれますが、雪は辛抱強く作業すれば、健康管理・美味しい晩酌が待っている。頑張ろう。

雪は、私たちの宝物。美味しい水に、魚沼産コシヒカリ、自慢の地酒、雪解け後の「ふきのとう」「ごこめ」「うど」など、雪国ならではの絶品なお宝に、雪中貯蔵、雪国観光。さらに雪冷熱を活用した「ホワイト・データセンター」魚沼市も立候補中。

この雪は、全国どこにも負けない強みが豊富にあります。

雪に親しみ、春の来る日を待ちましよう。

(佐藤敏雄)